



2022年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 参天製薬株式会社

コード番号 4536 URL <https://www.santen.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 谷内 樹生

問合せ先責任者(役職名) IR室 室長 (氏名) 板垣 香里 TEL 06-7664-8621

四半期報告書提出予定日 2022年2月14日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

IFRS(フル)ベース

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	195,801	7.7	26,380	△2.0	25,673	△3.5	19,296	△7.4	19,349	△7.9	22,803	△1.0
2021年3月期第3四半期	181,786	△0.3	26,905	△7.0	26,600	△8.2	20,828	2.7	20,998	3.4	23,030	7.0

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	48.39	48.32
2021年3月期第3四半期	52.56	52.44

コアベース

	売上収益		コア営業利益		コア四半期利益		親会社の所有者に 帰属する コア四半期利益		基本的1株当たり コア四半期利益	希薄化後1株当たり コア四半期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	195,801	7.7	34,553	△5.1	25,865	△8.7	25,907	△8.7	64.80	64.70
2021年3月期第3四半期	181,786	△0.3	36,428	△4.1	28,339	4.2	28,370	4.2	71.02	70.84

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分		親会社所有者 帰属持分比率		1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	%	%	円 銭	
2022年3月期第3四半期	429,598	320,775	321,405	74.8	803.98				
2021年3月期	405,285	309,646	310,181	76.5	776.16				

(注) 2020年9月に行った企業結合に係る暫定的な会計処理が2022年3月期第2四半期に確定したことに伴い、2021年3月期第3四半期の連結経営成績(累計)及び2021年3月期の連結財政状態を遡及修正しています。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
2022年3月期	—	16.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

IFRS(フル)ベース

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前当期利益		当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	260,000	4.2	41,500	240.5	41,000	250.8	30,500	234.2	77.07

コアベース

	売上収益		コア営業利益		コア当期利益		基本的1株当たり コア当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	260,000	4.2	52,000	3.8	39,000	3.9	98.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

IFRS(フル)ベースの数値からコアベースの数値への調整内容は、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1)経営成績に関する説明」(P6参照)をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

なお、当第3四半期連結会計期間において、Santenグループ（当社及び当社の関係会社）のPlano Pte. Ltd. に対する議決権比率が20%以上となり、重要な影響力の行使が可能になったため、同社を新たに持分法適用の範囲に含めています。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期3Q	400,408,254株	2021年3月期	400,368,954株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	423,668株	2021年3月期	549,909株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期3Q	399,708,261株	2021年3月期3Q	399,413,902株

(注) 期末自己株式数には、株式報酬制度に係る信託が保有する当社株式（2021年3月期末 18,230株、2022年3月期3Q 16,271株）が含まれています。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいています。実際の業績等は、様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2022年2月10日（木）に証券アナリスト、機関投資家向けの第3四半期決算カンファレンスコールを開催する予定です。この説明会で使用する資料は、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	8
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	8
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	9
(1) 要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書	9
(2) 要約四半期連結財政状態計算書	10
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	12
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	14
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	15
(継続企業の前提に関する注記)	15
(企業結合)	15
(重要な後発事象)	17
3. 連結参考資料	18
(1) 主要製品売上収益	18
(2) 開発状況	19
(3) 設備投資、減価償却費及び償却費、製品に係る無形資産償却費並びに研究開発費	21
(4) 主要通貨為替レート	21

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 当第3四半期連結累計期間の業績の状況

(ア) IFRS（フル）ベース

(単位：百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	対前年同期増減率
売上収益	181,786	195,801	7.7%
営業利益	26,905	26,380	△2.0%
四半期利益	20,828	19,296	△7.4%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	20,998	19,349	△7.9%

[売上収益]

前年同期と比べ7.7%増加し、1,958億円となりました。

主力の医療用医薬品事業は、日本は薬価改定の影響がありましたが主力製品が堅調に推移したこと、中国は集中購買における影響を最小限に抑え、EMEAは主力製品が堅調に推移し、前年同期と比べ7.3%増加し、1,829億円となりました。

売上収益の内訳は次のとおりです。

上段：金額

下段：対前年同期増減率、()は為替影響を除いた対前年同期増減率

(単位：百万円)

	日本	中国	アジア	EMEA	米州	合計
医療用医薬品	115,772	20,296	13,193	31,619	2,066	182,946
	5.1%	11.1%	1.4%	13.8%	57.7%	7.3%
	(-%)	(△1.1%)	(△4.7%)	(6.5%)	(50.5%)	(4.3%)
一般用医薬品	7,281	-	461	-	-	7,742
	2.1%	-	80.1%	-	-	4.8%
医療機器	2,309	29	-	1,196	319	3,852
	8.9%	-	-	79.2%	-	38.2%
その他	1,198	20	43	-	-	1,260
	20.6%	△65.8%	△5.6%	-	-	15.0%
合計	126,559	20,344	13,698	32,815	2,385	195,801
	5.1%	11.0%	2.9%	15.4%	82.0%	7.7%

(注) 外部顧客に対する売上収益を表しています。

顧客の所在地をもとに国又は地域に分類しています。なお、アジアには中国を含んでいません。

EMEAは、欧州、中東及びアフリカです。

<医療用医薬品>

◇日本

前年同期と比べ5.1%増加し、1,158億円となりました。主力製品の売上は次のとおりです。

・緑内障・高眼圧症治療剤領域			
「タプロス点眼液」	67億円	（対前年同期増減率	△ 5.2%）
「タプコム配合点眼液」	22億円	（対前年同期増減率	+ 4.4%）
「エイベリス点眼液」	25億円	（対前年同期増減率	+ 30.8%）
・角結膜疾患治療剤領域			
「ジクアス点眼液」	103億円	（対前年同期増減率	+ 7.2%）
・抗アレルギー点眼剤領域			
「アレジオン点眼液 ^{※1} （P5参照）」	144億円	（対前年同期増減率	+ 13.5%）
・網膜疾患治療剤領域			
「アイリーア硝子体内注射液 ^{※2} （P5参照）」	559億円	（対前年同期増減率	+ 9.8%）

◇中国

円換算ベースで前年同期と比べ11.1%増加し（為替影響を除いた成長率は△1.1%）、203億円となりました。なお、中国において新製品であるジクアス点眼液及びタプロス点眼液の販売促進強化を行うとともに、主力製品であるクラビット点眼液及びヒアレイン点眼液は、集中購買による影響を受けつつも、引き続き私立病院や薬局など他のチャンネルでの拡販に注力し、減少を抑制しています。なお、主力製品の売上は次のとおりです。

・緑内障・高眼圧症治療剤領域			
「タプロス点眼液」	7億円	（対前年同期増減率	+ 86.7%）
・角結膜疾患治療剤領域			
「ジクアス点眼液」	26億円	（対前年同期増減率	+544.0%）
「ヒアレイン点眼液」	70億円	（対前年同期増減率	△ 3.5%）
・眼感染症治療剤領域			
「クラビット点眼液」	56億円	（対前年同期増減率	△ 15.9%）

◇アジア（中国除く）

円換算ベースで前年同期と比べ1.4%増加し（為替影響を除いた成長率は△4.7%）、132億円となりました。主力製品の売上は次のとおりです。

・緑内障・高眼圧症治療剤領域			
「タプロス点眼液」	15億円	（対前年同期増減率	+ 5.5%）
「タプコム配合点眼液」	6億円	（対前年同期増減率	+ 49.3%）
「コソプト配合点眼液」	38億円	（対前年同期増減率	+ 17.0%）
・角結膜疾患治療剤領域			
「ジクアス点眼液」	13億円	（対前年同期増減率	+ 20.0%）
・眼感染症治療剤領域			
「クラビット点眼液」	12億円	（対前年同期増減率	△ 12.9%）

◇EMEA

円換算ベースで前年同期と比べ13.8%増加し（為替影響を除いた成長率は+6.5%）、316億円となりました。主力製品の売上は次のとおりです。

・緑内障・高眼圧症治療剤領域			
「タプロス点眼液」	52億円	（対前年同期増減率	+ 1.5%）
「タプコム配合点眼液」	26億円	（対前年同期増減率	+ 19.1%）
「コソプト配合点眼液」	80億円	（対前年同期増減率	+ 11.3%）
「トルソプト点眼液」	23億円	（対前年同期増減率	+ 4.0%）
・角結膜疾患治療剤領域			
「Ikervis（アイケルビス）」	38億円	（対前年同期増減率	+ 42.8%）

◇米州

円換算ベースで21億円となりました。なお、米州の売上収益に含まれる、前年第2四半期連結会計期間に買収したEyevance Pharmaceuticals Holdings Inc.（米国）の売上収益は14億円です。

<一般用医薬品>

前年同期と比べ4.8%増加し、77億円となりました。

「サンテメディカルシリーズ」「サンテボーティエシリーズ」「ソフトサンティアシリーズ」などの高価格帯品に加え、スイッチOTC製品「ヒアレインS」、発売から2021年に30周年を迎えた「サンテFXシリーズ」に注力しています。

<医療機器>

前年同期と比べ38.2%増加し、39億円となりました。主力製品の売上は次のとおりです。

「レンティス コンフォート」	11億円	（対前年同期増減率	+ 27.8%）
「PRESERFLO MicroShunt （プリザーフロ マイクロシャント）」	12億円	（対前年同期増減率	+ 85.6%）

<その他>

その他の売上収益は13億円となりました。サプリメント製品の販売、株式会社クレール（連結子会社）での無塵・無菌服のクリーニング業によるものです。

[営業利益]

売上総利益は、前年同期と比べ6.8%増加し、1,131億円となりました。

IFRS（フル）ベースの販売費及び一般管理費は、前年同期と比べ14.2%増加し、603億円となりました。後述のコアベースの販売費及び一般管理費597億円に加え、Eyevance Pharmaceuticals Holdings Inc.（米国）の統合業務等の一過性の費用等が6億円発生しました。

研究開発費は、前年同期と比べ6.5%増加し、188億円となりました。

製品に係る無形資産償却費は、前年同期と比べ6.3%減少し、73億円となりました。これは主に、Merck & Co., Inc.（米国）から2014年に譲り受けた眼科製品に関する無形資産、2015年より欧州で販売を開始した「Ikervis（アイケルビス）」に関する無形資産、2016年のInnFocus, Inc.（米国）買収に伴い取得したSTN2000100（DE-128、PRESERFLO MicroShunt（プリザーフロ マイクロシャント））に関する無形資産（2019年4月より償却開始）、並びに2020年のEyevance Pharmaceuticals Holdings Inc.（米国）買収に伴い取得した眼科製品に関する無形資産の償却によるものです。

前年第2四半期連結会計期間に買収したEyevance Pharmaceuticals Holdings Inc.（米国）に関し、第2四半期連結会計期間において取得対価の配分が完了したことに伴い、当初の暫定的な金額を遡及修正しました。詳細は2.（5）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項（企業結合）に記載のとおりです。なお、前年第3四半期連結累計期間の要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書に与える影響は軽微です。また、当第3四半期連結累計期間の製品に係る無形資産償却費は14億円です。

その他の収益は、3億円となりました。
その他の費用は、7億円となりました。

これらにより、IFRS（フル）ベースの営業利益は、前年同期と比べ2.0%減少し、264億円となりました。

[四半期利益]

金融収益は、12億円となりました。
金融費用は、7億円となりました。

持分法による投資損失は、12億円となりました。これは主にVerily Life Sciences LLC（米国）との合弁会社であるTwenty Twenty Therapeutics LLC（米国）の損益のうち、当社の持分に帰属する金額を計上したものです。

法人所得税費用は、64億円となりました。グループ内の法人の利益構成比の変動及び試験研究費の税額控除適用額の減少などにより、税負担率は前年同期より増加し24.8%となりました。

これらにより、四半期利益は、前年同期と比べ7.4%減少し、193億円となりました。

[親会社の所有者に帰属する四半期利益]

親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期と比べ7.9%減少し、193億円となりました。売上収益に対するその比率は、9.9%となりました。

※1 アレジオンLX点眼液を含みます。

※2 製造販売元であるバイエル薬品株式会社とのコ・プロモーション製品です。

（イ）コアベース ※3

（単位：百万円）

	前第3四半期	当第3四半期	対前年同期増減率
売上収益	181,786	195,801	7.7%
コア営業利益	36,428	34,553	△5.1%
コア四半期利益	28,339	25,865	△8.7%
親会社の所有者に帰属する コア四半期利益	28,370	25,907	△8.7%

[売上収益]

IFRS（フル）ベースからの調整はありません。

[コア営業利益]

売上総利益について、IFRS（フル）ベースからの調整はありません。

販売費及び一般管理費は、前年同期と比べ15.3%増加し、597億円となりました。なお、IFRS（フル）ベースからの調整内容については、前述の[営業利益]に記載のとおりです。

研究開発費は、IFRS（フル）ベースからの調整はありません。

以上により、コアベースでの営業利益は、前年同期と比べ5.1%減少し、346億円となりました。

※3 Santenグループでは2015年3月期のIFRS適用を機に、IFRSによる業績（「IFRS（フル）ベース」）から一部の収益及び費用を控除した「コアベース」での財務情報を経常的な業績を示す指標として開示しています。IFRS（フル）ベースによる業績からコアベースでの業績への調整において控除する以下の収益及び費用とそれらに係る法人所得税費用を調整し、コアベースを算出しています。

- ・ 製品に係る無形資産償却費
- ・ その他の収益
- ・ その他の費用
- ・ 金融収益
- ・ 金融費用
- ・ 持分法による投資損益
- ・ 販売費及び一般管理費のうち企業買収などに係る一過性費用

② 研究開発活動

<緑内障・高眼圧症領域>

プロスタグランジンF₂α誘導体及びβ遮断剤の配合剤STN1011101（DE-111A、一般名：タフルプロスト／チモロールマレイン酸塩）は、中国で2019年1月から第Ⅲ相試験を実施しています。

EP2受容体作動薬STN1011700（DE-117、一般名：オミデネパグ イソプロピル）は、米国で2021年11月に審査完了通知を受領しました。2022年3月末の再申請を目指し準備中です。日本では2018年11月に発売しました。アジアでは、順次販売承認を申請しており、韓国で2021年2月に発売しました。

FP/EP3受容体デュアル作動薬STN1012600（DE-126、一般名：sepetaprost）は、米国で2021年12月に追加の第Ⅱ相試験を終了しました。日本では、後期第Ⅱ相試験を完了しています。欧州で2021年9月に第Ⅱ相試験（探索的試験）を開始しました。

緑内障用デバイスSTN2000100（DE-128）*は、日本で2021年5月に販売承認を申請しました。欧州で2019年4月に発売しました。アジアでは、2020年3月以降順次販売承認を申請しており、2021年9月以降シンガポールなどで承認を取得しました。韓国で2021年4月に非承認通知を受領し、再申請を検討中です。

プロスタグランジンF₂α誘導体の乳化点眼剤STN1013001（DE-130A、一般名：ラタノプロスト）は、欧州及びアジアで2019年4月から第Ⅲ相試験を実施しています。

ROCK阻害剤STN1013900（AR-13324、一般名：netarsudil mesylate）は、日本で2020年11月から第Ⅲ相試験を実施しています。アジアで2021年度に販売承認の申請を予定しています。欧州、中国での上市・開発計画を策定中です。本剤を含む配合剤についても、世界多地域での上市・開発計画を策定中です。

*2021年5月に、米州、オーストラリア及びニュージーランドでの製品開発、商業化及び販売の権利をGlaukos Corporation（米国、以下、Glaukos社）へ供与しました。米国では2020年6月に市販前承認（PMA）の段階的申請を完了し、2021年2月末に米国食品医薬品局（FDA）から審査に関するフィードバックを受け、以降協議を実施しています。カナダで2021年3月に、オーストラリアで2021年5月に販売承認を取得しました。

<角結膜疾患（ドライアイを含む）領域>

春季カタルを対象とするSTN1007603（DE-076C、一般名：シクロスポリン）は、欧州、アジア、カナダなど既に承認・販売されている諸国に続き、中国では2021年4月に販売承認を申請しました。米国では2021年6月に承認を取得しました。

ドライアイを対象とするSTN1008903（DE-089C、一般名：ジクアホソルナトリウム）は、日本で2021年8月に製造販売承認を申請しました。

マイボーム腺機能不全を対象とするSTN1010905（一般名：シロリムス）は、日本で2021年10月に前期第Ⅱ相試験を開始しました。世界多地域での開発も予定しています。

<網膜・ぶどう膜疾患領域>

ぶどう膜炎を対象とするSTN1010900（DE-109、一般名：シロリムス）は、米国で2018年12月から追加の第Ⅲ相試験を実施しています。

<新規疾患領域>

小児における近視を対象とするSTN1012700（DE-127、一般名：アトロピン硫酸塩）は、日本で2019年8月から第Ⅱ／Ⅲ相試験を実施しています。中国で2021年9月に第Ⅰ相試験を開始しました。アジアでは2020年4月に第Ⅱ相試験を終了しました。

小児における近視を対象とするSTN1012701（SYD-101、一般名：アトロピン硫酸塩）は、導入元であるSydnexis Inc.（米国）により欧州及び米国で第Ⅲ相試験が実施されています。当社は、欧州、中東及びアフリカ地域における独占ライセンス権を保有しています。

近視を対象とするSTN1013400（化合物名：AFDX0250BS）は、日本で2021年9月に第Ⅰ相試験を終了しました。

※開発コードの附番方法変更に伴い、新開発コード（STNXXXXXXXX）及び既存開発コード（DE-XXX）を併記しています。なお、AR-13324はAerie Pharmaceuticals, Inc.（米国）、SYD-101はSydnexis Inc.（米国）での開発コードです。

（2）財政状態に関する説明

① 資産、資本及び負債の状況

当第3四半期末の資産は、4,296億円となりました。Aerie Pharmaceuticals, Inc.（米国）とのライセンス契約に伴う無形資産の増加、滋賀プロダクトサブライセンター敷地内における医療用点眼薬製造のための第3棟の増設に伴う有形固定資産の増加、並びに同設備投資に関して総額100億円の長期借入れを実行したことによる現金及び現金同等物の増加などにより前期末と比べ243億円増加しました。

資本は、3,208億円となりました。利益剰余金の増加などにより前期末と比べ111億円増加しました。

負債は、1,088億円となりました。法人所得税等の支払による未払法人所得税等の減少などがあつた一方、長期借入金等金融負債の増加及び未払金等その他の金融負債の増加などにより前期末と比べ132億円増加しました。

以上の結果、親会社所有者帰属持分比率は、前期末と比べ1.7ポイント減少し、74.8%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、312億円の収入（前年同期は238億円の収入）となりました。主に四半期利益が193億円、営業債権及びその他の債権の減少32億円、法人所得税の支払額99億円、減価償却費及び償却費125億円によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、232億円の支出（前年同期は503億円の支出）となりました。主に有形固定資産の取得による支出149億円及び無形資産の取得による支出56億円によるものです。また政策保有株式の見直しを加速化しており、当第3四半期は1銘柄の投資の売却による収入が11億円ありました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、41億円の支出（前年同期は130億円の支出）となりました。配当金の支払119億円などがありましたが、長期借入れによる収入100億円により41億円の支出となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第3四半期末残高は、前期末と比べ49億円増加し、678億円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期の業績は、概ね予定通り推移しており、2021年5月11日に公表した業績予想からの変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上収益	181,786	195,801
売上原価	△75,897	△82,704
売上総利益	105,889	113,097
販売費及び一般管理費	△52,821	△60,323
研究開発費	△17,653	△18,803
製品に係る無形資産償却費	△7,744	△7,255
その他の収益	524	318
その他の費用	△1,290	△655
営業利益	26,905	26,380
金融収益	1,017	1,212
金融費用	△1,147	△734
持分法による投資損失	△175	△1,186
税引前四半期利益	26,600	25,673
法人所得税費用	△5,773	△6,377
四半期利益	20,828	19,296
その他の包括利益		
純損益に振り替えられない項目：		
確定給付制度の再測定	—	—
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動	1,619	△960
純損益に振り替えられる可能性のある項目：		
在外営業活動体の換算差額	754	4,183
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△170	284
その他の包括利益	2,202	3,507
四半期包括利益合計	23,030	22,803
四半期利益の帰属		
親会社の所有者持分	20,998	19,349
非支配持分	△171	△53
四半期利益	20,828	19,296
四半期包括利益合計の帰属		
親会社の所有者持分	23,216	22,898
非支配持分	△186	△96
四半期包括利益合計	23,030	22,803
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益（円）	52.56	48.39
希薄化後1株当たり四半期利益（円）	52.44	48.32
<コアベース>		
売上収益	181,786	195,801
コア営業利益	36,428	34,553
コア四半期利益	28,339	25,865
基本的1株当たりコア四半期利益（円）	71.02	64.80
希薄化後1株当たりコア四半期利益（円）	70.84	64.70
コア四半期利益の帰属		
親会社の所有者持分	28,370	25,907
非支配持分	△30	△42
コア四半期利益	28,339	25,865

（2）要約四半期連結財政状態計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	39,489	51,343
無形資産	115,808	125,234
金融資産	31,903	30,528
退職給付に係る資産	1,619	1,422
持分法で会計処理されている投資	5,162	7,523
繰延税金資産	2,824	2,784
その他の非流動資産	2,249	1,760
非流動資産合計	199,054	220,594
流動資産		
棚卸資産	41,575	39,291
営業債権及びその他の債権	95,992	93,359
その他の金融資産	527	453
その他の流動資産	5,248	8,068
現金及び現金同等物	62,888	67,833
流動資産合計	206,231	209,004
資産合計	405,285	429,598

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資本		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	8,525	8,544
資本剰余金	8,954	9,068
自己株式	△934	△718
利益剰余金	273,238	281,098
その他の資本の構成要素	20,398	23,415
親会社の所有者に帰属する持分合計	310,181	321,405
非支配持分	△535	△630
資本合計	309,646	320,775
負債		
非流動負債		
金融負債	10,141	21,222
退職給付に係る負債	1,210	1,201
引当金	600	719
繰延税金負債	3,626	3,806
その他の非流動負債	1,514	983
非流動負債合計	17,090	27,930
流動負債		
営業債務及びその他の債務	38,106	38,292
その他の金融負債	23,739	31,509
未払法人所得税等	5,458	934
引当金	819	980
その他の流動負債	10,428	9,179
流動負債合計	78,549	80,893
負債合計	95,639	108,823
資本及び負債合計	405,285	429,598

（3）要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）

（単位：百万円）

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					確定給付制度の再測定	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動
2020年4月1日残高	8,366	8,746	△1,033	273,422	—	11,150
四半期包括利益						
四半期利益				20,998		
その他の包括利益						1,619
四半期包括利益合計	—	—	—	20,998	—	1,619
所有者との取引額						
新株の発行	80	80				
自己株式の取得			△3			
自己株式の処分		△43	102			
配当金				△11,187		
株式報酬取引		59				
その他				1,206		△1,206
所有者との取引額合計	80	96	98	△9,981	—	△1,206
2020年12月31日残高	8,446	8,842	△934	284,439	—	11,563

	その他の資本の構成要素				親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
	在外営業活動体の換算差額	持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	新株予約権	合計			
2020年4月1日残高	1,529	—	686	13,364	302,865	△305	302,560
四半期包括利益							
四半期利益					20,998	△171	20,828
その他の包括利益	769	△170		2,218	2,218	△16	2,202
四半期包括利益合計	769	△170	—	2,218	23,216	△186	23,030
所有者との取引額							
新株の発行			△79	△79	80		80
自己株式の取得				—	△3		△3
自己株式の処分				—	59		59
配当金				—	△11,187		△11,187
株式報酬取引				—	59		59
その他				△1,206	—		—
所有者との取引額合計	—	—	△79	△1,285	△10,992	—	△10,992
2020年12月31日残高	2,298	△170	606	14,297	315,089	△491	314,598

当第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）

（単位：百万円）

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					確定給付制度 の再測定	その他の包括 利益を通じて 公正価値で測 定する金融資 産の純変動
2021年4月1日残高	8,525	8,954	△934	273,238	—	11,075
四半期包括利益						
四半期利益				19,349		
その他の包括利益						△960
四半期包括利益合計	—	—	—	19,349	—	△960
所有者との取引額						
新株の発行	18	18				
自己株式の取得			△12			
自己株式の処分		15	228			
配当金				△11,998		
株式報酬取引		81				
その他				508		△508
所有者との取引額合計	18	114	216	△11,489	—	△508
2021年12月31日残高	8,544	9,068	△718	281,098	—	9,607

	その他の資本の構成要素				親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配持分	資本合計
	在外営業 活動体の 換算差額	持分法適用 会社におけ るその他の 包括利益に 対する持分	新株予約権	合計			
2021年4月1日残高	8,634	170	518	20,398	310,181	△535	309,646
四半期包括利益							
四半期利益					19,349	△53	19,296
その他の包括利益	4,225	284		3,549	3,549	△43	3,507
四半期包括利益合計	4,225	284	—	3,549	22,898	△96	22,803
所有者との取引額							
新株の発行			△24	△24	12		12
自己株式の取得				—	△12		△12
自己株式の処分				—	243		243
配当金				—	△11,998		△11,998
株式報酬取引				—	81		81
その他				△508	—		—
所有者との取引額合計	—	—	△24	△533	△11,674	—	△11,674
2021年12月31日残高	12,859	454	494	23,415	321,405	△630	320,775

（4）要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期利益	20,828	19,296
減価償却費及び償却費	12,755	12,543
減損損失	287	64
持分法による投資損益（△は益）	175	1,186
金融収益及び金融費用（△は益）	△538	△607
法人所得税費用	5,773	6,377
営業債権及びその他の債権の増減（△は増加）	1,597	3,246
棚卸資産の増減（△は増加）	△1,560	2,568
営業債務及びその他の債務の増減（△は減少）	△2,796	△20
引当金及び退職給付に係る負債の増減（△は減少）	237	264
未払賞与の増減（△は減少）	△1,678	△2,549
その他	695	△1,842
小計	35,773	40,525
利息の受取額	101	222
配当金の受取額	487	493
利息の支払額	△119	△156
法人所得税の支払額	△12,418	△9,896
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,824	31,188
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資の取得による支出	△2,728	△823
投資の売却による収入	2,595	1,098
子会社株式の取得による支出	△23,834	—
持分法で会計処理される投資の取得による支出	△5,349	△2,969
有形固定資産の取得による支出	△2,645	△14,921
無形資産の取得による支出	△18,275	△5,592
その他	△76	△30
投資活動によるキャッシュ・フロー	△50,311	△23,237
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	254	10,000
配当金の支払額	△11,124	△11,911
リース負債の返済による支出	△2,164	△2,236
その他	77	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,956	△4,148
現金及び現金同等物の増減額	△39,443	3,804
現金及び現金同等物の期首残高	91,430	62,888
現金及び現金同等物の為替変動による影響	926	1,140
現金及び現金同等物の四半期末残高	52,913	67,833

（5）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（企業結合）

前第3四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）

（Eyevance Pharmaceuticals Holdings Inc. 及びEyevance Pharmaceuticals LLCの取得）

① 企業結合の概要

（a）被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称： Eyevance Pharmaceuticals Holdings Inc.
Eyevance Pharmaceuticals LLC

事業の内容： 最適な視力とより高いQOL（生活の質）実現に向けた、革新的でインパクトのある点眼用眼科製品の開発・販売

（b）企業結合を行った理由

Eyevance Pharmaceuticals Holdings Inc.（米国）及びEyevance Pharmaceuticals LLC（米国）は、眼表面及び前眼部の領域において、点眼薬の開発・販売を行っており、現在は、抗炎症、抗アレルギー、抗真菌、涙液の潤滑のための点眼薬、及び抗菌と抗炎症の配合点眼薬を提供しています。また、米国全土の眼科医、検眼医、アレルギーを専門とする医師を対象とした同社のナショナルセールsteamが、その販売活動を担っています。

Santenグループは、本買収を通じて、米国での事業基盤を早期に確立し、より多くの患者さんのニーズに真摯に向き合い、さらなる価値を提供します。同時に、米国へのアクセス、そしてプレゼンスを獲得することで、グローバルにおける事業展開を加速させ、眼科医療への一層の貢献とさらなる成長を目指します。

（c）取得日

2020年9月16日（米国時間）

（d）被取得企業の支配の獲得方法

現金を対価としてEyevance Pharmaceuticals Holdings Inc.（米国）の発行済株式の100%を取得し、同社及びその傘下の事業会社であるEyevance Pharmaceuticals LLC（米国）の2社を完全子会社化しています。

（e）取得した議決権付資本持分割合

100%

② 取得資産及び引き受けた負債の認識金額並びに取得対価の取得日公正価値

当該企業結合に関し、前連結会計年度において取得対価の配分が完了しなかったため、暫定的な会計処理を行っていましたが、第2四半期連結会計期間に取得対価の配分が完了しました。

取得日における取得資産及び引き受けた負債の認識金額並びに取得対価の取得日公正価値は以下のとおりです。

(単位：百万円)

	金額
非流動資産	21,428
流動資産	838
現金及び現金同等物	1,099
非流動負債	△3,725
流動負債	△564
のれん（注）	5,857
合計	24,933
現金	24,933
取得対価合計	24,933

(注) のれんは、主に期待される将来の超過収益力の合理的な見積りにより発生したものです。なお、当該のれんは税法上、損金には計上できません。

第2四半期連結会計期間において、取得対価の配分が完了したことに伴い、当初の暫定的な金額を遡及修正しました。これに伴い取得日において、主として無形資産が17,063百万円及び繰延税金負債が3,550百万円それぞれ増加し、のれんは13,705百万円減少しました。なお、前第3四半期連結累計期間の要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書に与える影響は軽微です。

また、前連結会計年度の連結財政状態計算書についても、上記取得対価の配分の完了による遡及修正を行っており、主として無形資産が17,086百万円及び繰延税金負債が336百万円それぞれ増加し、のれんは14,154百万円減少しました。

当該企業結合に係る取得関連費用として853百万円を「販売費及び一般管理費」に計上しています。

③ キャッシュ・フロー情報

(単位：百万円)

	金額
支払対価の公正価値の合計	24,933
被取得企業が保有する現金及び現金同等物	△1,099
子会社株式の取得による支出	23,834

④ Santenグループの業績に与える影響

前第3四半期連結累計期間の要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書に含まれる取得日以降にEyevance Pharmaceuticals Holdings Inc.（米国）及びEyevance Pharmaceuticals LLC（米国）から生じた損益は以下のとおりです。

売上収益： 499百万円
四半期利益： △608百万円

なお、当該企業結合が期首に実施されたと仮定した場合の前第3四半期連結累計期間の要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書に与える影響額は以下のとおりです。
（非レビュー情報）

売上収益： 1,251百万円
四半期利益： △2,804百万円

当第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）

当第3四半期連結累計期間に生じた企業結合はありません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

3. 連結参考資料

(1) 主要製品売上収益

(単位：百万円)

品目名 (有効成分・剤形)	薬効領域	地域	2021年3月期				2022年3月期			
			第3四半期 累計実績	対前年 伸長率	通期 実績	対前年 伸長率	第3四半期 累計実績	対前年 伸長率	通期 見込	対前年 伸長率
クラビット点眼液 (レボフロキサシン点眼液)	合成抗菌点眼剤	合計	10,450	△18.6%	12,650	△16.7%	9,142	△12.5%	12,147	△4.0%
		日本	1,607	△23.5%	1,971	△23.3%	1,440	△10.4%	1,592	△19.3%
		中国	6,607	△21.3%	7,927	△16.6%	5,559	△15.9%	7,859	△0.9%
		アジア	1,411	11.8%	1,722	△0.2%	1,229	△12.9%	1,786	3.7%
		EMEA	826	△24.3%	1,029	△25.1%	914	10.6%	910	△11.6%
タリビッド点眼液 (オフロキサシン点眼液)	合成抗菌点眼剤	合計	1,205	4.1%	1,427	△3.1%	994	△17.5%	1,215	△14.9%
		日本	276	△18.5%	337	△18.6%	262	△5.2%	279	△17.3%
		中国	507	1.0%	683	16.8%	608	19.8%	688	0.7%
		アジア	421	33.1%	406	△14.1%	125	△70.4%	247	△39.2%
タブコム配合点眼液 (タフルプロスト/ チモロールマレイン酸塩点眼液)	緑内障治療剤	合計	4,642	10.9%	6,036	11.7%	5,344	15.1%	6,566	8.8%
		日本	2,065	2.9%	2,604	3.3%	2,156	4.4%	2,403	△7.7%
		アジア	391	33.9%	546	42.6%	584	49.3%	763	39.8%
		EMEA	2,186	16.0%	2,886	15.4%	2,604	19.1%	3,399	17.8%
タブロス点眼液 (タフルプロスト点眼液)	緑内障治療剤	合計	13,922	△1.0%	17,915	0.1%	14,046	0.9%	20,564	14.8%
		日本	7,022	△3.4%	8,709	△4.5%	6,655	△5.2%	8,738	0.3%
		中国	387	24.3%	602	52.4%	723	86.7%	2,788	362.8%
		アジア	1,422	△1.1%	1,907	0.8%	1,501	5.5%	2,105	10.4%
		EMEA	5,090	1.0%	6,696	3.2%	5,168	1.5%	6,933	3.5%
コソプト配合点眼液 (ドルゾラミド塩酸塩/ チモロールマレイン酸塩点眼液)	緑内障治療剤	合計	16,152	△1.3%	20,877	△0.8%	16,397	1.5%	19,597	△6.1%
		日本	5,669	△5.6%	6,940	△10.1%	4,542	△19.9%	5,173	△25.5%
		アジア	3,257	7.4%	4,462	10.1%	3,810	17.0%	4,778	7.1%
		EMEA	7,227	△1.3%	9,475	2.2%	8,046	11.3%	9,646	1.8%
チモプトール点眼液 (チモロールマレイン酸塩点眼液) (* チモプトールXE点眼液を含む)	緑内障治療剤	合計	1,723	△12.4%	2,196	△12.3%	1,638	△5.0%	1,859	△15.3%
		日本	927	△15.5%	1,137	△15.7%	806	△13.1%	789	△30.6%
		アジア	192	13.6%	264	17.2%	213	11.5%	294	11.1%
		EMEA	604	△13.8%	794	△14.5%	618	2.3%	777	△2.2%
トルソプト点眼液 (ドルゾラミド塩酸塩点眼液)	緑内障治療剤	合計	3,429	△3.4%	4,365	△1.3%	3,423	△0.2%	3,862	△11.5%
		日本	1,001	△6.9%	1,227	△9.1%	888	△11.3%	1,009	△17.8%
		アジア	258	△21.7%	344	△16.2%	278	7.8%	308	△10.7%
		EMEA	2,170	1.1%	2,794	4.9%	2,257	4.0%	2,546	△8.9%
エイバリス点眼液 (オミデネバグ イソプロピル点眼液)	緑内障治療剤	合計	1,943	64.5%	2,536	55.7%	2,617	34.7%	3,696	45.7%
		日本	1,943	64.5%	2,516	54.4%	2,541	30.8%	3,612	43.6%
アレジオン点眼液 (エピナスチン塩酸塩点眼液) (* アレジオンLX点眼液を含む)	抗アレルギー点眼剤	合計	12,672	27.1%	32,752	31.5%	14,467	14.2%	32,368	△1.2%
		日本	12,672	27.1%	32,733	31.4%	14,385	13.5%	32,225	△1.6%
		アジア	—	—	19	—	81	—	143	663.1%
フルメトロン点眼液 (フルオロメトロン点眼液)	抗炎症点眼剤	合計	2,121	△10.9%	2,812	△6.2%	2,365	11.5%	2,961	5.3%
		日本	744	△21.0%	1,052	△17.3%	665	△10.6%	924	△12.1%
		中国	1,073	4.2%	1,392	12.0%	1,450	35.1%	1,676	20.4%
		アジア	304	△25.7%	368	△23.5%	250	△17.8%	361	△1.9%
ピレノキシリン懸濁性点眼液 (ピレノキシリン点眼液)	老人性白内障治療剤	合計	3,097	△3.8%	3,995	△1.5%	3,196	3.2%	4,025	0.7%
		日本	1,910	△4.6%	2,391	△4.4%	1,851	△3.1%	2,354	△1.5%
		中国	581	△2.1%	771	9.6%	629	8.2%	717	△7.1%
		アジア	605	△2.7%	832	△2.3%	716	18.3%	954	14.6%
Oftan Catachrom (オフトンカタクロム) (チトクロームC/アデノシン/ ニコチンアミド含有点眼液)	老人性白内障治療剤	合計	1,385	△28.8%	1,830	△18.3%	1,427	3.1%	1,767	△3.5%
		EMEA	1,385	△28.8%	1,830	△18.3%	1,427	3.1%	1,767	△3.5%
ヒアルロン酸Na眼粘弾剤 (ヒアルロン酸ナトリウム眼科手術補助剤)	眼科手術補助剤	合計	1,750	△16.4%	2,189	△18.1%	1,656	△5.4%	2,414	10.3%
		日本	1,750	△16.4%	2,189	△18.1%	1,656	△5.4%	2,414	10.3%
アイリーア硝子体内注射液 (アフリバルセプト(遺伝子組換え) 硝子体内注射液)	眼科用VEGF阻害剤 硝子体内注射液	合計	50,955	7.4%	64,454	7.2%	55,926	9.8%	65,038	0.9%
		日本	50,955	7.4%	64,454	7.2%	55,926	9.8%	65,038	0.9%
ヒアレイン点眼液 (ヒアルロン酸ナトリウム点眼液)	角結膜疾患治療剤	合計	14,731	0.9%	18,420	4.6%	13,247	△10.1%	14,932	△18.9%
		日本	5,576	△11.5%	6,967	△11.2%	5,119	△8.2%	5,893	△15.4%
		中国	7,205	5.5%	9,259	17.9%	6,950	△3.5%	6,918	△25.3%
		アジア	1,951	31.7%	2,194	15.2%	1,178	△39.6%	2,121	△3.3%
ジクアス点眼液 (ジクアホソルナトリウム点眼液)	角結膜疾患治療剤	合計	11,112	△13.8%	14,403	△9.8%	14,249	28.2%	17,935	24.5%
		日本	9,620	△15.4%	12,283	△13.8%	10,313	7.2%	13,249	7.9%
		中国	410	194.6%	717	328.6%	2,639	544.0%	2,782	288.3%
		アジア	1,082	△21.5%	1,404	△9.2%	1,298	20.0%	1,904	35.6%
Ikervis(アイケルビス) (シクロスポリン点眼液)	角結膜疾患治療剤	合計	3,336	16.9%	4,529	17.6%	4,652	39.4%	5,553	22.6%
		アジア	647	15.5%	890	20.6%	812	25.5%	1,368	53.7%
		EMEA	2,689	17.2%	3,638	16.9%	3,840	42.8%	4,184	15.0%
Cationorm(カチオノーム)	角結膜疾患治療剤	合計	2,366	6.3%	3,062	5.2%	2,537	7.2%	3,420	11.7%
		アジア	199	△9.4%	256	△3.3%	358	80.0%	337	31.7%
		EMEA	1,494	△3.4%	1,969	△5.9%	1,631	9.2%	2,315	17.6%
米州	673	46.7%	838	50.9%	548	△18.6%	768	△8.3%		
レンティス コンフォート	白内障治療用 眼内レンズ	合計	829	7.1%	1,196	12.3%	1,059	27.8%	2,058	72.0%
日本	829	7.1%	1,196	12.3%	1,059	27.8%	2,058	72.0%		
PRESERFLO MicroShunt(プリザーフロ マイ クロシャント)	緑内障用デバイス	合計	629	135.5%	892	230.0%	1,167	85.6%	1,500	68.0%
		EMEA	629	135.5%	892	230.0%	1,167	85.6%	1,440	61.5%
一般用医薬品		合計	7,386	△25.0%	9,410	△21.8%	7,742	4.8%	10,000	6.3%
		日本	7,130	△25.9%	9,058	△22.7%	7,281	2.1%	9,700	7.1%
		アジア	256	11.8%	352	12.7%	461	80.1%	300	△14.7%

※上記の見込等は、現在において入手可能な情報に基づいて作成しています。実際の業績等は、事業環境変化などにより、大きく結果が異なる可能性があります。通期見込については想定為替レートで換算して表示しています。なお、地域別は主要国地域を記載しています。

（2）開発状況

2022年1月時点

■開発状況一覧表（臨床段階）

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
シクロスポリン	STN1007603 / DE-076C	春季カタル	自社	米国				2021年6月		
				中国				2021年4月		
免疫抑制作用により、春季カタルの症状を改善する乳化点眼剤。カチオン性製剤技術により組織移行性を高めた製剤。欧州で、2018年10月以降順次発売。アジアで、2019年8月にIkervisの適応拡大として承認を取得以降、順次発売。カナダで、2019年11月に発売。米国で、2021年6月に販売承認を取得。中国で、2021年4月に販売承認を申請。										
一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
ジクアホソルナトリウム	STN1008903 / DE-089C	ドライアイ	Merck Sharp & Dohme Corp. (米国)	日本				2021年8月		
角結膜上皮からムチンや水分の分泌を促すドライアイ治療剤。持続製剤。日本で、2021年8月に製造販売承認を申請。										
一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
シロリムス	STN1010900 / DE-109	ぶどう膜炎	自社	米国						
				日本						
				欧州						
				アジア				2015年4月		
免疫抑制作用、血管新生抑制作用などを有する硝子体内注射剤。米国で、2018年12月から追加のフェーズ3試験を実施中。アジアで、2015年4月に販売承認を申請。										
一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
シロリムス	STN1010905	マイボーム腺機能不全	自社	日本	(フェーズ2a)					
mTOR阻害作用によりマイボーム腺の機能を改善する懸濁点眼剤。日本で、2021年10月にフェーズ2a試験を開始。世界多地域での展開も予定。										
一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
タフルプロスト/ チモロールマレイン酸塩	STN1011101 / DE-111A	緑内障・高眼圧症	AGCと共同開発	中国						
プロスタグランジンF _{2α} 誘導体及びβ遮断剤の配合剤。2014年11月、日本で発売。2015年1月以降、欧州で順次発売。2016年4月以降、アジアで順次発売。中国で、2019年1月からフェーズ3試験を実施中。										
一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
オミデネパグ イソプロピル	STN1011700 / DE-117	緑内障・高眼圧症	宇部興産と 共同開発	米国				2020年11月		
				日本				2018年11月		
				アジア				2021年2月		
新規メカニズムのEP2受容体作動薬。米国で、2021年11月に審査完了通知を受領、2022年3月末の再申請を目指し準備中。日本で、2018年11月に発売。アジアでは順次販売承認を申請しており、韓国で2021年2月に発売。										
一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
sepetaprost	STN1012600 / DE-126	緑内障・高眼圧症	小野薬品工業	米国						
				日本	(フェーズ2b)					
				欧州	(探索的試験)					
FP受容体及びEP3受容体への作動作用（デュアル作動薬）を有する新規メカニズムのプロスタグランジン誘導体の緑内障・高眼圧症治療剤。米国で、2021年12月に追加のフェーズ2試験を終了。日本で、フェーズ2b試験を完了。欧州で、2021年9月にフェーズ2試験（探索的試験）を開始。										
一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
アトロピン硫酸塩	STN1012700 / DE-127	近視	Singapore Health Services社、 南洋理工大学	日本	(フェーズ2/3)					
				中国						
				アジア						
小児における近視の進行を抑制する非選択的ムスカリン受容体拮抗薬。日本で、2019年8月からフェーズ2/3試験を実施中。中国で、2021年9月にフェーズ1試験を開始。アジアで、2020年4月にフェーズ2試験を終了。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
アトロピン硫酸塩	STN1012701 / SYD-101	近視	Sydnexis社	欧州						
小児における近視の進行を抑制する非選択的ムスカリン受容体拮抗薬。導入元であるSydnexis社により欧州及び米国でフェーズ3試験が実施中。当社は、欧州、中東及びアフリカ地域における独占ライセンス権を保有しています。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売	
緑内障用デバイス	STN2000100* / DE-128	緑内障	自社	日本				2021年5月			
				欧州					2019年4月		
				アジア					2021年9月		
原発開放隅角緑内障における眼圧下降を目的とし、房水の流出を促すインプラント手術用デバイス。日本で、2021年5月に販売承認を申請。欧州にて2019年4月に発売。アジアでは、2020年3月以降順次販売承認を申請しており、2021年9月以降にシンガポールなどで承認を取得。韓国で、2021年4月に非承認通知を受理、再申請を検討中。											

*2021年5月に、米州、オーストラリア及びニュージーランドについてGlaukos社へ導出。米国では、2020年6月に市販前承認（PMA）の段階的申請を完了、2021年2月末にFDAから審査に関するフィードバックを受け、以降協議を実施中。カナダで2021年3月に、オーストラリアで2021年5月に販売承認を取得。

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
ラタノプロスト	STN1013001 / DE-130A (Catioprost)	緑内障・高眼圧症	自社	欧州						
				アジア						
プロスタグランジンF ₂ α誘導体の緑内障・高眼圧症治療用乳化点眼剤。欧州及びアジアで、2019年4月からフェーズ3試験を実施中。										

化合物名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
AFDX0250BS	STN1013400	近視	ベーリンガーインゲルハイム	日本						
小児における近視の進行を抑制する選択的ムスカリンM2受容体拮抗薬。特定のサブタイプを選択的に阻害するため、散瞳が抑えられる。日本で、2021年9月にフェーズ1試験を終了。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
netarsudil mesylate	STN1013900 / AR-13324	緑内障・高眼圧症	Aerie社	日本						
ROCK（Rhoキナーゼ）阻害剤。米国では、Aerie社が開発し販売中。日本で、2020年11月からフェーズ3試験を実施中。アジアで2021年度に販売承認を申請予定。欧州、中国での上市・開発計画を策定中。本剤を含む配合剤についても、世界多地域での上市・開発計画を策定中。										

■2021年度第2四半期決算発表時（2021年11月8日）からの変更点

開発コード	変更点
STN1011700 / DE-117	2021年11月に審査完了通知を受領、2022年3月末の再申請を目指し準備中。

（3）設備投資、減価償却費及び償却費、製品に係る無形資産償却費並びに研究開発費

■設備投資

（単位：百万円）

	2021年3月期		2022年3月期	
	第3四半期 累計実績	通期実績	第3四半期 累計実績	通期見込
設備投資額	5,747	11,281	16,216	25,000

（注） 使用権資産の増加は除いています。

■減価償却費及び償却費

（単位：百万円）

	2021年3月期		2022年3月期	
	第3四半期 累計実績	通期実績	第3四半期 累計実績	通期見込
総額	3,206	4,404	3,348	4,820
製造経費	1,643	2,267	1,716	2,170
販売管理費	1,107	1,533	1,198	1,970
研究開発費	456	604	434	680

（注） 製品に係る無形資産償却費、長期前払費用の償却費及び使用権資産の償却費は除いています。

■製品に係る無形資産償却費

（単位：百万円）

	2021年3月期		2022年3月期	
	第3四半期 累計実績*1	通期実績*1	第3四半期 累計実績	通期見込
総額	7,744	10,650	7,255	8,900
メルク無形資産償却費	4,356	5,808	4,305	5,740
STN2000100（DE-128）*2無形資産償却費	2,044	2,725	708	890
Ikervis（アイケルビス）無形資産償却費	520	701	556	710
その他	825	1,417	1,686	1,560

*1 第2四半期連結会計期間において、企業結合による取得対価の配分が完了し、2021年3月期の第3四半期累計実績及び通期実績を遡及修正しています。

*2 PRESERFLO MicroShunt（プリザーフロ マイクロシャント）

■研究開発費

（単位：百万円）

	2021年3月期		2022年3月期	
	第3四半期 累計実績	通期実績	第3四半期 累計実績	通期見込
研究開発費	17,653	24,112	18,803	26,000
対売上収益比	9.7%	9.7%	9.6%	10.0%

（4）主要通貨為替レート

（単位：円）

通貨	2021年3月期 第3四半期	2021年3月期	2022年3月期 第3四半期	2022年3月期 (予想)
USドル	105.96	105.95	111.24	105.00
ユーロ	122.34	123.73	130.80	125.00
中国元	15.38	15.61	17.28	16.50

※上記の見込等は、現在において入手可能な情報に基づいて作成しています。実際の業績等は、事業環境変化などにより、大きく結果が異なる可能性があります。